

ことわざ・慣用句シリーズ

ここでは毎月、覚えておきたいことわざと慣用句を取り上げます。みなさんはどのくらい知っていますか？

慣用句

『肩身がせまい』

意味：世の中に対して『恥ずかしい』気持ち。

ひとこと：対義語として『鼻が高い』

使い方：ぼくのせいでバスケの試合に負けた。今日はちょっと肩身がせまかった。

『肩をもつ』

意味：味方になって応援すること。

ひとこと：肩に手をかけて励ますことからきた言葉。

使い方：兄弟げんかをする、父はいつも兄の肩を持つ。

ことわざ

『勝手かぶとの緒をしめよ』

意味：成功しても油断せず、いっそう心を引きしめなさいということ。

ひとこと：次の戦いに出るとき、かぶとのひもをしめなおすことから。

使い方：勝ったからといって油断せず、『勝ってかぶとの緒をしめよ』だ。

『かっぱの川流れ』

意味：どんなに上手な人でも、時には失敗することがあるという意味。

ひとこと：類義語として『猿も木から落ちる』『弘法(こうぼう)にも筆のあやまり』

使い方：あの名人が失敗するとは、かっぱの川流れだな。